

原子力機構の事業の概要

東京電力株式会社福島第一原子力発電所（以下、「福島第一」という。）事故への対応を原子力機構全体として、人材・研究施設を最大限に活用して、総力を挙げた取組を行っています。また、国民の生活に不可欠なエネルギー源である原子力を更に発展させるとともに、原子力による新しい科学技術や産業の創出を目指すべく、その基礎、応用研究から核燃料サイクルの確立という実用化を目指した研究を総合的にを行っています。

原子力機構の目指すもの

原子力は国民の生活に不可欠なエネルギー源です。原子力機構は、原子力の新しい科学技術や産業を生み出すため、原子力の基礎、応用研究から核燃料サイクルの実用化まで幅広い研究開発を行っている日本で唯一の原子力に関する総合的な研究開発機関です。

原子力機構は、福島第一事故への対応として廃止措置・環境回復に向けた技術開発等を行うとともに、「もんじゅ」をはじめとする原子力エネルギーに関する研究開発を中心に、「高速増殖炉サイクル研究開発」、「高レベル放射性廃棄物処分技術研究開発」、「核融合研究開発」、「量子ビーム応用研究」を主要事業として重点化しています。

そして、それらを進めていくために、事業の優先度を考慮した施設の集約（廃止・統合）とそのために必要な経営資源の確保を図り、自らの施設の廃止措置を進めています。また、廃棄物の処理・処分、産学官の連携、国際協力、人材育成や情報の公開などにも力を注いでいます。

さらに、大前提となる原子力の安全を担保する安全研究、平和利用を担保する核不拡散に関する研究開発、これら研究開発全般の基礎・基盤となる原子力基礎工学研究と先端原子力科学研究に取り組んでいます。

原子力機構の事業の概要

－原子力機構の目指すもの－

